

えになる時間が同時刻で大忙し、又全員がおみえになるまで席を立つ事ができず、終日会場内の様子を、見ることも、聞くことも出来なかったということです。主たる部分だけでもビデオにでも撮っておいて、あとでみたり聞いたりしたかったと思いました。

目にみえない陰の力多々ありで、御協力ほんとうにありがとうございました。

来賓宿泊係を仰せつかって

杉山雪岳

六月六日午後四時半、ホテル「シーサイド葉山」のフロントで、根岸会長他で、故松井岳洋先生ゆかりの地、寒河江吟友会の先生方をお待ちしておりました。ホテルのフロントとの交流があるということで頼まれ、お世話することになりました。一流のホテルとはいえませんが、宿の部屋から眺める景色はまさに一流…きつと御満足いただけるものと思っております。

ご到着の日はあいにくの曇り空で江の島がうすくかすんで見えるだけでした。はるばるの旅のもてなしに、葉山沖に広がるあの富士の素晴らしいシルエット、茜色に染まる波な

ど、日没の数分間をお見せできずじまいで、大変残念に思っておりますが、ホテルと磯づたいの森戸神社を、会長、岳愛先生共々で御案内申しあげ説明されました。そして夕食のあと、明朝の食事の段取をお話して九時半頃帰りました。

大会当日朝、雨がパラついていたので傘を用意してホテルに急ぎました。朝食のあと、少しお休みして頂き、大会々場に御案内し、そのあとは来賓受付の役に着きました。

大会も滞りなく終り、懇親会もそこに、岳愛先生と一緒に再びホテルに戻り懇親会の準備にかゝりました。藤森岳宇先生、山本岳美先生、寒河江の三先生、碩心会の会長、副会長他で忌憚なく語り合い、和やかな談笑がつづき、静かな波のメロディーの中、夜も深くなり、ゆっくりお休みしていただくことに致し、私の役目も終りました。協力して下さいました岳愛他の先生方有難うございました。

会費受付を担当して

村田 滯 岳

小雨の降る中を早目に役員達は到着しましたが、九時でないと言開しないので、着物を

気にしながら待ちました。前夜役員の方達が会館に出かけ、当日の下準備をしておいたので、すぐ受付することができ、記念大会なので会員も早くから来られ、受付もどんどんと片付き、十時半には番号札も殆んどなくなる程で、会員の皆様の御協力ありがとうございました。

進行担当

千葉 岳 関

先ずもって歴史的とも言える創立55周年記念大会に、進行係の大役を振り当てて頂き、光栄とともに感謝申し上げます。

7名のものは事前に十分な打合せはできなかったが、皆さん責任感旺盛で、しかも常々この種業務に経験の深い方々ばかりで、いささかの不安もなかった。私のみるところ、当日の大会は素晴らしいものであったと自讃しているところである。

もちろんこの進行成功の裏に、各係りの方が、オーバーかも知れないが、それぞれ心血を注いで協力して下さいたからであることは言うまでもないところである。改めて感謝申し上げます。

恥らうを感じる次第です。

何事にも完全ということは殆んどありません。今大会にも反省点は多々ありました。特に話し合い、横の連絡が如何に重用であるかを知らされたことでした。

今大会の反省点の教訓を礎に、会の和をモットーとして、次の六十周年を目標に、傾心会発展の為に頑張ります。会員の皆様ご苦勞様でした。

総括を担当して

加藤 岳 洵

五十五年四月に総務部を担当して、爾來十二年の間、五十七年（四十五周年）、六十二年（五十周年）、本年と、三回にわたり周年大会の総括を経験させていただきました。

四十五周年の大会後、大会費用の捻出について、会員皆様のご協力により積立金方式を採用させていただき、お陰様で予算計画を円滑にすすめられるようになり、今回二百五十万円の予算規模で執行させていただきました。大会計画にあたり、昨年三月に準備委員会発足のための役員会の後、第一回の準備委員会を四月に開催して以来、一年三ヶ月の準備

期間中、それぞれ担当役員により献身的に、鋭意作業をすすめていただいた次第です。

本年五月十二日、正・副準備委員により最終打合せ会を行い、準備、運営について遺漏のないよう各分掌毎の確認を行い、更には、大会前日各役員、構成吟出吟（演）者により会場の設営作業、構成吟のリハーサル等明日に備え、夜遅くまで努力をしていただきました。

不束ながら、人生の先輩の方々のご指導とご叱正を得、又、総括担当の立沢御岳先生、宇都宮徳岳先生のご協力をいただき、恙なく総括の役目を果すことができましたことに對し、深く感謝申しあげます。

次の六十周年大会には、更に充実した大会ができますよう、皆様の努力を期待したいと思います。

「次の大会には、もう年齢で役に立たないから……」など耳にいたしますが、ふと、サミュエル・ウルマンというアメリカ人の「青春」という詩を思い出します。

「青春とは人生の或る期間を言うのではなく心の様相を言うのだ。年を重ねただけでは人は老いない。理想を失う時に始めて老いなく

る。情熱を失う時に精神はしぼむ……。」と。

青春を失なわないよう、詩吟に理想と情熱をかたむけて、次の目標に向かって頑張りますよう。

来賓招待・受付を担当して

中村 岳 愛

準備委員会の段階では招待係として、大会案内状の作成発送・プロ同封の案内状、大会終了後の礼状の作成。又宿泊の先生方の宿の設定を担当しました。又大会当日は来賓受付を仰せつかり、終ってホテルでの宿泊の先生を交えての懇親会の設定・そして翌日の観光案内等が主な仕事でした。

案内状他の作成は前回にならって作成したので比較的スムーズにゆきましたが、宿泊の宿の設定には苦勞しました。でも杉山先生のお力添えで本当に助かりました。

又当日の来賓受付については、60名のお客様を、前以って三部門に分けて名簿を作成し、御祝儀受付係、記入係、胸章係と役員の配置をきめておき、更に御案内係として臨時の役員を増員させていただきました。前回は同じでしたが、来賓の先生方のおみ

一つ二つ将来の参考にもと私見を述べたい。会場の構造にもよるところであるが、主たる進行係りの配置場所が、幕内にあり、会場の状況が眼をもって把握出来ず、特に雰囲気、盛り上り状況などつかみにくい難点があった。考え方にもよるが、やはり場内外の全般が見透せる場所が適切ではないかと感じた次第。その(2)として、プログラムは整然とできていても、当日は招待客の番狂わせなど相当なハプニングがつきものである。如何に会場、その他の係りの方と協力しあい、スムーズにしかも礼を失しないように処するか、事前に情報の把握を十分しておく必要があるということである。

その(3)として、進行はプロの順をこなすだけではなく、朝のスタートから、終了後のすべての行事まで全般を見透したうえで、場合によっては、失礼だが他の係の動きにまで気配りし、叱咤激励、協力を得ながら進める必要があることを痛感した。もちろん前日まで進行プロの研究と、その構成項目の、特に会場設備とのセッティング状況を、明確につかんでおくべきであろう。

専門職員と会場係の連繋ぶりはよかったが、

こうした動きの全般も把握してこそ、スムーズに流れて、全体が充実してみえてくるのではなからうか。それにしても今般の各係りの協力ぶりは、少々の事前の調整不足を乗り越えて、素晴らしいものだったと、改めて感じている次第である。有難とう御礼申し上げます。

連絡担当

中村 岳 郵

受付と、進行の間を往復することが、きまっていた仕事の一部であるが、何かと依頼をうけるのが連絡係の任務。然し今回は、最少人員の為、交替、休息ができず、終日担務、「今日は二万歩あるいたね」と話し合った次第です。

受付係が、ある先生に聞き洩らした事があって、探すのに苦労された由ですが、この様な時は、連絡係にバトンタッチしてもよいこと。最もその先生のお顔を承知しているのは私だけとは、これも一考すべき問題であったと思います。

会場担当

竹石 岳 泓

創立55周年記念吟道大会の準備委員会が、約一年前に発足し、小生会場係の責任者の任を受けた。先ず会場の確保を、地元葉山町福祉文化会館一本にしぼることになった。この折衝の役を、当会の矢嶋悦岳先生が引き受けられ、非常な御尽力の結果、早々に目安がつく運びとなり、準備委員一同安心して、その後の準備に入った次第です。

当会館は使用料が高額のため、急遽葉山町詩吟詩舞連盟を結成し、使用料の割引が実を結んだ。このことによって、会場舞台の横看板に「主催葉山町詩吟詩舞連盟」と記入しなければならぬような意外な結果となった。

会場の飾りつけ等の準備も、前夜準備のため会場を借用し、地元で近いため、会場係の方々の集りもよく、すんなりと準備することができた。

大会当日は、会場係の一致協力の仕事振りは目を見張るものがあり、無事後始末をして任を終った。会場係の準備委員として活躍された方々、当日の会場係の方々には衷心より

厚く御礼申し上げます。

たゞ会場外周で、会員の吟練習が散見されたが、これは練習室が大会日直前に完成したため、周知不足が原因と思考されるので、次回は周知徹底して、周辺の町民に御迷惑を避けぬよう努力が必要とされる。

大会の盛会であったことを祝し、次回60周年記念大会の更なる盛会を祈念申し上げます次第です。

接待・弁当・懇親会担当

沼田 義 岳

約一年前より準備委員会をもち、私は接待、弁当、懇親会の係りとして、数回の打合せ会議を行ない、大会の前の晩は九時過ぎ迄、現場で協議を行ない、万全を期したつもりでした。しかし当日は男手が少なく大変苦勞をし、私の教場の男衆を動員し、テーブルの出し入れ、セットを行ない、大変なさわざでした。又弁当の割振りもいつもながらの、無いの、足りないの等のトラブルもありましたが、皆さんの協力で何とか手際よくまとめられました。

接待も女性の方が大分苦勞しましたが、懇

親会に入つてようやく胸をなでおろしたようであります。私は懇親会に入つて来賓の皆さんの様子をみながら、終った時点で、お客様を私共の役員の本でピストン輸送してもらい、大わらわでしたがよい体験をさせて頂きました。他の担当分野の役員さんも、もっとく大変な蔭の御苦勞があった事と思います。

最後に会場を掃除機を掛けて掃除している時、一人の参事の先生が手伝つてくれた時は胸を打たれました。私は最後の一兵として、笠原酒店、お多幸の人達の引き上げを確認して、ねぎらいにガードマンに残り酒を渡し鍵をかせさせ八時半頃家に帰りました。

接待・女性の立場から

岩崎 恵 岳

この度の大会で接待を受持つことになり、何回か打合せをしましたが、やはり心配していた通り役員数が足りず、全員汗を流して大奮闘でした。今回は湯沸所、来賓接待室、舞台等が離れている為、大変苦勞し、自分の出番も気がつかぬ程の忙しさでした。

そこで次回には、弁当、接待、懇親会等毎に細かく役を割当して戴いた方が都合よく行

くのではないでしょうか。

尚テーブルや椅子を並べるのも、会場が広く、数が多い為、手不足で困り果て、男性三名の応援を得て、何とか無事に終る事が出来ました。女性三名の方々にもお手伝いして戴き本当に有難うございました。接待の皆様、お疲れ様でございました。

懇親会の司会を受持つ

木村 松 岳

あまり大きな天候のくずれもなく、大会は盛大に挙行されました。吟者、詩舞、その他関係各員の日頃の練習の成果が十分発揮され感激の至りでした。

そして招待の先生方の素晴らしい吟に感動覚めやらぬうち、すべてのスケジュールを無事終了し、ついで第二会場に於いて懇親会が行われました。この度私如き者が懇親会の司会の担当を仰せつかり、55周年大会の、そして全国の名だたる諸先生の前にてと思ひ、体調を崩すほどの緊張の連続でした。始め自己紹介の折に、私は暦の年齢は69才と年に不足はないのですが、吟歴は20年足らずですので懇親会がスムーズに終了するよう

御協力をとお願ひしましたところ、頑張れー
！と激励の言葉をかけていただきました。

型通りの諸先生の御挨拶をいただき懇親会
に入りました。各先生方の表と裏（悪い意味
ではなく、芸達者ぶり）を垣間見て、非常に
親近感を覚えさせていただきました。司会を
して色々参考になることがあり、我が人生に
違った面での体験をさせてもらい良かったな
あと思ひました。そして岳雷先生の中めで
無事解散となりました。

記念品・弁当担当

鈴木孝 岳

私は準備委員会の段階で、記念品と弁当係
を担当致しました。何しろ不慣れな私ですの
で、まだ何月も先があると思ひ乍らも、絶え
ず頭からはなれませんでした。

大会も間近に迫り、記念品も全部揃って、
いよいよ前日の六日午後六時に文化会館に運
びこみ、役員の方達にお手伝いを頂き、当日
を待つばかりになり、ホッと肩の荷が下りた
感じでした。

大会の日を迎え、朝方の雨も間もなくやみ、
プロもスムーズに運び、構成吟、詩舞も、見

応え、聞き応えがあり、素晴らしく盛上った
ようでした。各先生、係りの皆様に御協力し
て頂き、恙なく役を果す事が出来感謝致して
おります。

会計担当

矢嶋悦 岳

大会も無事終了しおめでとうございました。
会長先生始め、諸先生には大変ご苦勞をおか
けし、ありがとうございます。

又会員の皆様には、五年間の長きに亘り、
積立てをして頂き、お陰をもちまして総本部
県本部各会より、多数のお客様を御招待出来
盛大な会を催すことができました。会計部よ
り厚く御礼申し上げます。明日よりは六十周
年に向けて御協力下さいます様お願いします。
停るところを知らぬ火山活動、六月中に本
土に接近する台風と、何年来にない気象状況
や、内外国さまざまな異変と、前途に一抹の
不安を感じる今日この頃でございます。
先ず和をモットーに、他人に優しく、自分
にきびしく、吟道に精進してまいりたく思っ
ております。がんばります。

構成吟のこと

村田 滯 岳

構成吟の小楠公、華道吟の指導を会長から
言われ、早速土曜日夜7時〜9時、逗子体育
館を申し込み、練習を始めました。遠くから
来る方が多いのにもかかわらず、皆さん熱心
に来られ、楽しく練習ができました。

着る物の準備も出来、マイクの前に立つ順
番もきめ、尺八に合せる事、美しい移動の仕
方など練習をしたせいで、当日もあわてるこ
となく、吟もしっかり出来た。色々な教場の
方の集まりなのに、よくやって下さったと感
謝しています。

亡き松井先生を偲んで

「椰子の実」を舞う

小林 紫 風

昭和59年5月はじめ頃、突然故岳洋先生が
山の根の私の家までお出で下さいまして「椰
子の実」の振付をたのまれました。急でした
ので間に合うか心配でしたが、わざわざお出
で頂いたのでお引受け致しまして、二日前に
やっと仕上げまして5月19日、逗子市文化祭

30周年記念大会に、亡き先生の独吟の発表に
独演させて頂きました。私にとりまして何よ
りの先生の思い出の舞でした。その時57年に
ハワイの岸辺より拾って持ち帰った椰子の実
を持って舞ったのです。

その思い出の舞を、碩心55周年大会に松
井先生を偲ぶという構成吟でしたので、紫舟
流の皆さんに舞っていただきました。先生の、
当時の御元氣な姿、そして濃厚篤実、誠に立
派な人格者でいられたことを偲びつつ、
思い出こめて舞わせて頂きました。亡き先生
も泉下の陰より、盛会だった大会を喜んで御
覧頂いた事と思います。そして又、碩心会の
益々の発展を心より楽しみにしていただけます
事を信じます。

合掌

松井先生の教えを胸に「四時」を書く

中村 岳 郵

55周年大会構成吟を、松井岳洋先生を偲ぶ”
としたいと、の会長提案が決定し、プロ担当
の一員として、先生が生前好んで吟じられた
吟題の選定に参加した。

スライド、詩舞、華道等、時間の制約のも
と、効果的に取りあげることが簡単ではない。

皆さんで検討中、前回岳洋先生が行った書道
吟を再現したいとの事で、先生を偲ぶこと一
汐の私にとっては、有無を言う事もできず引
受けることになりました。

稽古もしないうち段々大会が迫った或る日、
子息の正風先生より「よろしかったらお使い
下さい」と、岳洋先生が前回使用された愛用
の書道板を届けて下され、身のひきしまる思
いでした。

「書道吟というのは、上手な字を書こうと
思っただけいけない、姿が大事だ、特に後姿に
留意しなさい」と教えられた事を思い出す。
開会式の際、役員としてステージに上り、
指定された場所が岳洋先生の遺影の真ん前：
思わず「先生今日の書道吟をお守り下さい」
とお願いした。

誰でも自分なりに満足した吟が出来た時は、
第一声が適正な音程であった筈。筆に於ても
然り。第一筆が落ち着いて書けなければさま
にならない。あとで作品が提示されると思う
と、姿勢をかえりみる余裕もなく、今更なが
ら未熟の身を恥じたもの、「岳洋先生の姿が
思い出されジッと眺めた」と言ってくれた吟
友の言葉に救われる思いがした。

華道を修して

石渡 桂 岳

緑の山に囲まれた真新しい白亜の館、葉山
町福祉文化会館は、碩心会55周年記念大会に
びったりの親しみを感じる広さで心が和む。
ゆるやかな傾斜度で見渡す明るい舞台、緋
毛氈に座して活ける花は、優雅な吟の流れに
のって、一木一花と心静かに姿を整える。中
心に入る書道吟のパンチのきいた根岸先生の
吟声に、あと何分…と読みとる事ができて、
華道の三人は揃って仕上げの段階に入りまし
た。

吟者の方七人もお揃いの紋付袴で、キリッ
と舞台を華やかにして下さり、吟も一層さわ
やかに感じました。

又会場係の方々にも色々力をお借りして、
無事に終る事ができました。陰で気配りして
下さった皆様に厚く御礼申し上げます。

活け終えて梅花うつぎの白光る

金屏羽 碩心映ゆる青葉月

万歳の 大合唱も夏始め

総本部役員改選

右改選により正・副 理事長は左記の通り。

理事長 長谷川岳聖

副理事長 伊藤岳智

〃 光野岳延

尚根岸岳萃先生は理事に再選され、大会運営部長となりました。

◎ 八月の行事

(県本部指導者吟道講座)

とき・8月9日(日)9時受付

ところ・横須賀防大中講堂

(県本部吟道大会)

とき・8月30日(日)

ところ・横須賀文化会館

高齢者表彰

右大会の折に左記9名の方が80才以上高齢者として表彰されます。

林 真岳 高梨以岳 小峰紅岳

井上尚岳 荒谷易風 杉山初風

波田礼泉 小高啓泉 永山悦泉

県本部理事に

左記の方が任命されました。

岩崎恵岳 鈴木孝岳 山口夕岳

松野宝岳 杉山雪岳 綾部秋岳新

村田澁岳新 沼田義岳新 木村松岳新

碩心会 秋季審査会場の変更

来る9月6日に行われる右審査会場は、さきに逗子図書館ホールと発表しましたが、都合上左記に変更になりました。

○葉山真名瀬会館

逗子駅より「海岸廻り葉山一色行」

バスに乗り「真名瀬」下車。

第二地区大会 連吟コンクールに入賞

去る6月14日鎌倉中央公民館分館に於て行われた右会に5組が入賞、その中碩心会から左記3組が入賞しました。

1位 碩心 (沼田 実・一柳良治)

3位 碩心 (水上昌子・森はるみ)

5位 碩心 (蛭子トミヨ・石塚美耶子)

梅雨明けも間近となりました。七夕、小暑(7日)お盆、大暑(22日)土用の入り、そして山開き、海水浴、灯ろう流し、花火、夏祭りの季節です。各教場もそろそろ夏休みに入ると思います。暑さに負けないようお体に気をつけて下さい。

碩心会55周年大会も役員、会員の皆様の御協力で盛会裡に終ることができました。7月号は次回60周年大会に備え、記録として残し、参考になればと、各先生方からひと言づいいただきました。

(支部長交替)

上山口支部長・福本洋風(旧吉原慎風)

若葉支部長・土井松風(旧宮田花風)

(移籍)

寺脇宇岳・桜山Aより唐木山支部へ

(入会)

653 岸田 浩 横須賀市林二一六一四

(逗子A) 電〇四六八一五六―七三五五

654 河野頼徳 逗子市沼間一―二一九

(真澄) 電〇四六八一七三―〇一七三

(退会)

555 鈴木みさ(堀内・E) 564 永津エキ(滝の坂)